

J A山うど部会が目揃会を開催 消費者に選ばれる『白神山うど』の出荷を目指す

特産品である『白神山うど』の出荷最盛期を前に、J A山うど部会は1月15日(日)に目揃会を開催し、出荷規格や販売体制の確認を行いました。

目揃会には生産者や市場関係者、J A担当者ら約50名が参加し、桜田和浩部会長が「主体的に行い高品質の山うどを収穫し、『白神山うど』のブランドの名に恥じないものを出荷してほしい」との挨拶を交わしました。今年度の販売高は1億8千万円を目標とし、市場関係者からは「今年度の『白神山うど』は株の出来がよく太物中心なので、各市場に周知してもらいたい」との話し合いが行われました。



▲高品質山うどの出荷を目指し、出荷規格を確認する生産者



J Aねぎ部会が実績検討会を開催 販売額10億円を目指し品質向上と作付け拡大を目指す

平成26年度の実績及び平成27年度の計画を検討するため、J Aねぎ部会は1月20日(日)、ねぎ実績検討会をキヤッスルホテル能代で開催しました。

はじめに山谷初男部会長が、「満足できる単価ではなく販売に苦戦したが、各市場のおかげで県内他産地よりは高く販売ができた。『白神山うど』は全国でも名前が売れてきている。売り先はたくさんあるので安心して作ってもらいたい」と挨拶。その後、実績内容や生育概況、情勢報告などがされたほか、次年度から「園芸メカ団地」が稼働することもあり、品質管理の徹底と作付け拡大による目標の早期達成を目指すことを確認しました。



▲次年度への意気込みを語る山谷部会長



▲実績検討会には約80名の生産者が参加

促成アスパラガスの目揃会を開催 出荷を目前に控え規格等を確認

収穫・出荷を前に、出荷規格や今後の管理等を確認するため、J Aアスパラ部会は目揃会を開催しました。

生産者やJ A、市場関係者など13名が参加し、山谷清英部会長が「天候による影響は多少あったが、生育は順調に進んでいる。株品評会でも過去15年の中で最高の結果になっているので、今後の収穫に期待して適正管理を心掛けてほしい」と挨拶。市場情勢等の報告で、市場関係者が「収量不足等の影響で量が少ない状況である。適正な管理を行い高値の時期に合わせる。出荷してもらいたい。市場でも白アスパラガスをもっとPRしていきたい」と話しました。



▲横浜丸中青果の加藤氏が情勢を報告



今月のあなたの運勢 (2015年3月)



牡羊座 (3・21～4・19) 周囲に思いやりを示すことで、ラッキーチャンスが増える時期。優しさが幸運の鍵に。開運には清掃がベスト